

2026 年度

# 事 業 計 画 書

(2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日)

公益社団法人競走馬育成協会

# 公益社団法人競走馬育成協会

## 2026年度 事業計画書

当協会は、競走馬の育成調教技術の向上を通じ、強い馬づくりならびに育成調教技術者の養成と就労を支援し、競馬と地域社会の健全な発展に寄与することを目的として以下に掲げる事業を行う。また、事業の対象者を可能な限り拡大することにより、公益社団法人の社会的責任を果たすものとする。

なお、以下において「公益事業」とは馬に関わる不特定多数の利益となる事業を、「収益事業等」とは当協会の会員を対象とした事業をいう。

### 1. 競走馬の育成調教技術の向上に関する普及、啓発及び指導

#### 1) 育成技術講習会事業（公益事業）

競走馬の生産育成調教に関する知識と技術の習得を目的とし、技術講習会を開催する。講習のテーマは競走馬に限らず、乗用馬、騎乗者、飼養管理法など広範囲から選択する。

なお、開催にあたっては当協会ホームページ等を通じて広報し、多くの参加を呼びかけることとする。

#### 2) 競走馬育成調教技術表彰事業（収益事業等）

競馬の円滑な施行に育成業者が果たす役割には、極めて大きなものがある。また、世界に通用する強い馬づくりには高い育成調教技術が不可欠である。これらの意味において、我が国の競馬の一層の発展には、育成調教者の意欲と向上心が必須である。本事業においては、その陶冶とこれを支える経営基盤の強化のために、成績優秀な競走馬を育成した当協会正会員を表彰し、褒賞金を付与する。

### 2. 競走馬の育成調教に関する調査及び研究（公益事業）

競走馬の育成調教技術の向上と牧場環境の改善に資するため、育成牧場における調教、施設、経営、人材確保等の実態に関する調査及び研究を行う。

### 3. 競走馬の育成調教に携わる人材の確保と養成の支援（公益事業）

#### 1) 生産育成調教牧場への就業者参入促進事業

競走馬の生産育成に携わる人材を確保するため、牧場の仕事を広く紹介し、体験を支援することによって若者の競馬産業への参入を促す。

- (1) 牧場就業促進ウェブサイトの運営
- (2) 「BOKUJOBフェア」等、広報イベントの開催
- (3) 「牧場見学会」の開催
- (4) 「牧場で働く体験会」をはじめとした体験イベントの開催
- (5) 就労者技能習得研修補助事業（軽種馬牧場OJT支援事業）

## 2) 担い手育成事業

競馬産業の振興と人材養成を目的とし、生産育成の担い手として身に着けるべき知識と技術の習得を支援する。

- (1) 修学奨励金交付事業
- (2) 生産育成技術者海外派遣研修事業

## 4. 競走馬の育成調教経営に関する支援（収益事業等）

### 1) セリ市場の振興

育成調教の成果が市場取引に反映されるよう、2歳トレーニングセールを支援する。

### 2) 育成調教施設・設備の整備に対する助成

会員牧場の経営基盤強化を図るため、施設等の充実に必要な支援を行う。

- (1) 軽種馬生産育成強化資金利子補給事業
- (2) 競馬関連機材等有効活用事業
- (3) 畜産近代化リース事業

## 5. 競走馬の育成調教に関する国際交流（公益事業）

世界の競馬産業と馬文化の振興に寄与するため、競馬先進国と情報交換する。さらに、これによって得られた知見を国内や近隣諸国に発信することにより、育成調教技術の向上に資する。

## 6. 競走馬の育成調教に関する情報発信（公益事業）

協会誌「いくせい」を発行し、会員に競走馬の飼養管理や育成調教技術の向上に役立つ情報を提供する。また、協会ホームページ等を通じて育成調教に関する情報を広く発信する。

## 7. 組織の運営および協会の目的達成に必要な事業（公益事業）

- 1) 協会の運営および事業について協議するため、総会をはじめとした会議を開催する。
- 2) 協会の運営基盤強化を図るため、新規会員の加入を推進する。